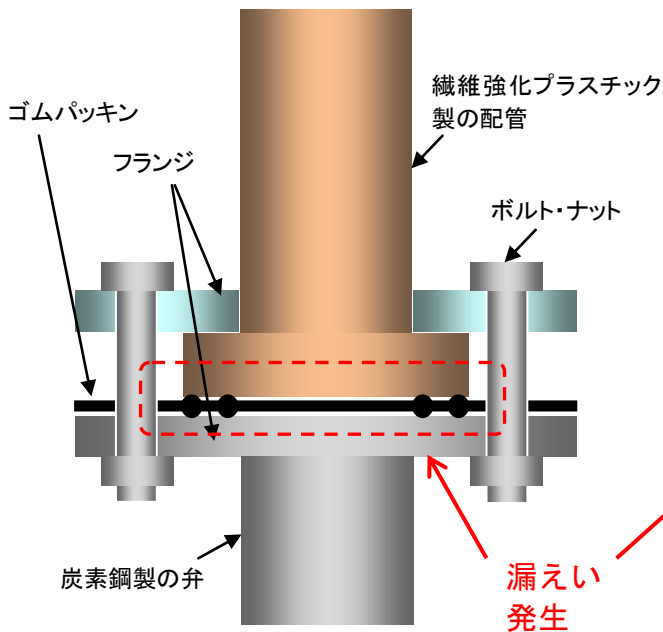


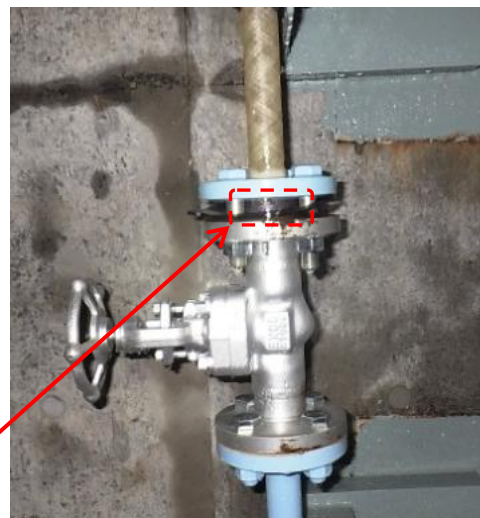
浜岡原子力発電所 4号機 海水熱交換器建屋における 放射性物質を含まない水の漏えいについて

2015 年 10 月 13 日

発生場所	4号機(施設定期検査中) 海水熱交換器建屋(放射線管理区域外)
発生年月日	2015 年 10 月 10 日
状 況	<p>午前7時25分に、当社社員が4号機海水熱交換器建屋1階(放射線管理区域外)の床面に水溜まりを確認しました。このため、漏えいの拡大防止として、水の供給を止めるための弁を閉止しました。</p> <p>漏えいした水は、機器の洗浄等に使用する水であり、その量は約25m³と推定しました。また、漏えいした水は排水およびふき取りをおこないました。</p> <p>漏えい箇所の調査をした結果、繊維強化プラスチック製の配管と炭素鋼製の弁を接続するフランジ部であるとわかりました。当該配管は、安全性向上対策工事に干渉するため、経路を変更し、新設したものです。</p>
原因・対策	<p>フランジ部を分解して点検した結果から、フランジ部のボルトの締付不足が漏えいの原因と推定しました。当該箇所は、フランジが片締めになっていないことを確認する手順となっていたものの、新たに設置した繊維強化プラスチック製の配管のフランジであり、通常の締付時に基準とする分解前のフランジの隙間の寸法が無いため、締付管理が不十分となっていました。このため、今後は、新たに設置する同種配管フランジ部の締付管理の方法を明確にします。</p>
放射能の影響	本事象は、放射性物質の漏えいに関わる事象ではありません。
お知らせ基準	<p>運転情報「表 2-11 建屋内において放射性物質を含まない水の漏えいを発見したとき(但し、100 リットル程度に至らない漏えいを除く。)」に該当します。</p>



当該フランジ部構造図



当該フランジ部写真